



平成29年度 先端科学シンポジウム

(Frontiers of Science: FoS)



参加研究者 – Discussant – 募集

申請締切日時

平成28年 **12月14日(水)** 17:00 本会必着

先端科学 (Frontiers of Science: FoS) シンポジウムは、日本及び諸外国の新進気鋭の若手研究者を対象に、最先端の科学トピックについて分野横断的な議論を行う合宿形式の国際シンポジウムです。各分野における最先端の研究概要について紹介し、分野を越えて議論を実施します。

平成29年度は、初の試みとなる日米独3カ国での以下のシンポジウムに、Discussant として参加する研究者を募集します。世界の第一線で活躍する研究者たちとともに科学研究のフロンティアを切り拓いていきませんか。意欲のある皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

	日米独先端科学 (JAGFoS) シンポジウム  
相手国側 共催機関	米国科学アカデミー (NAS), フンボルト財団 (AvH)
対象分野	社会科学、自然科学にわたる全分野
開催地	ドイツ パート・ノイエンアール
開催日程	平成29年9月21日(木)～9月24日(日) (4日間)
出張期間(予定)	平成29年9月21日(木)～9月26日(火) (6日間)
募集人数	若干名(8名以内)

○シンポジウムは全て英語で行われます。 ○本募集は他薦に基づく申請となりますのでご注意ください。
○例年2国間で行うシンポジウムを、平成29年度は日米独3国間に拡大して実施します。

諸経費

本会及び共催機関が、所属機関から会場への往復交通費(外国旅費・国内旅費)及びシンポジウム期間中の宿泊及び食事を負担します。

申請に当たっては下記ホームページに掲載の推薦要項を必ずご確認ください。

問い合わせ先



JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE
日本学術振興会

独立行政法人 日本学術振興会 国際事業部 研究協力第一課 先端科学 (FoS) シンポジウム担当
〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-3-1 Tel: 03-3263-1944 Fax: 03-3234-3700

E-mail: fos@jsps.go.jp [HP] <http://www.jsps.go.jp/j-bilat/fos>



2015年ノーベル物理学賞受賞の

梶田 隆章 東京大学教授は

FoSの卒業生です!



© 東京大学宇宙線研究所

参加研究者の条件

科学研究費補助金取扱規程(文部省告示)第2条に規定されている研究機関に所属する若手研究者*のうち、以下の条件を全て満たすこと

- ① 優れた学術業績があること
- ② 英語での議論に優れること
- ③ リーダーシップを発揮できること
- ④ 自分の専門分野に限らず、幅広い分野に対して興味関心を持っていること
- ⑤ 対象となるシンポジウムの全日程に参加できること

*若手研究者:平成29年(2017年)4月1日現在、45歳以下または博士の学位を取得後15年以下の者であることを要件とする。

先端科学 (Frontiers of Science: FoS) シンポジウムとは



プログラム例

	1日目	2日目	3日目	4日目
午前		開会式		
		セッション(地球)	セッション(数学)	セッション(化学)
		ポスターセッション	ポスターセッション	セッション(物理)
午後		セッション(生物)	セッション(社会)	閉会式
	ウェルカムレセプション	ポスターセッション	文化研修	

※実際のセッション順は、1日目に発表されます。また、ポスターセッションはフラッシュトークを含みます。

各セッションの構成(1セッションあたり2時間)

最先端研究にかかる導入的講演 (20分)	最先端研究にかかる講演 (20分×2名)	全分野の参加者によるディスカッション(60分)
----------------------	----------------------	-------------------------

公募で選ばれた Discussant には、ディスカッションおよびポスターセッションへご参加いただけます。

FoS の一番の特徴!

平成 29 年度トピック

各分野で最先端の科学トピックについて分野横断的な議論を実施

日米独先端科学 (JAGFoS) シンポジウム



- 生物学・生命科学 — Sleep Brain: Why do we need sleep?
- 化学・材料科学 — Materials and Chemistry to Develop Alternative Energy Resources
- 地球科学・地学・環境学 — Deep-time insights into rapid climate change
- 数学・応用数学・情報科学・工学 — Machine Learning & Computational Modeling
- 物理学・宇宙物理学 — Gravitational waves and their discovery
- 社会科学 — Social and Socioeconomic Inequality

過去のスピーカー一例

平成 28 年度 日独先端科学 (JGFoS) シンポジウム



最先端研究にかかる導入的講演

- [化学・材料科学] 植村 卓史 先生 (京都大学)
- [地球科学・地学・環境学] 飯塚 芳徳 先生 (北海道大学)
- [数学・情報科学・工学] 日高 昇平 先生 (北陸先端科学技術大学院大学)

最先端研究にかかる講演

- [生物・生命科学] 落合 博 先生 (広島大学)
- [化学・材料科学] 井上 圭一 先生 (名古屋工業大学)
- [地球科学・地学・環境学] Stephen Obrochta 先生 (秋田大学)
- [数学・情報科学・工学] 大泉 匡史 先生 (理化学研究所)
- [物理学・宇宙物理学] 西 遼佑 先生 (鳥取大学)
- [社会科学] 中澤 渉 先生 (大阪大学)

JAGFoS 企画委員主査からのメッセージ

京都大学 化学研究所 准教授 若宮 淳志 先生



若宮先生(写真右)と研究者たち(JGFoS2011より)

先端科学シンポジウム (FoS) は、各国、各分野から選ばれた、次世代を担う新進気鋭の科学者が集い、それぞれの分野の最先端科学とその方向性を議論する会議です。各発表時間の倍以上もかけて行われる全参加者との討論は、FoS の最大の特徴であり魅力です。通常の各分野の学会とは異なり、様々な分野の研究者により、多角的な視点から、その研究の意義や方向性を見つめ、徹底的に議論されます。その 50 分を超える討論時間には、参加者から意見を述べる手が挙がりっぱなしで、時間が足りないほどの熱い討論が繰り広げられます。研究の本質や核心をつく鋭い質問やコメントに、毎回、「さすが各国のエリートが集う FoS だな」と実感します。その場の雰囲気は、一見にしかず。きっと、参加者は一つ目のセッションが終わる頃には、「なるほど、面白い!」と実感するはずです。また、FoS を通して出会った異分野の仲間は、今後の研究者人生にとってもかけがえのない財産になることでしょう。このいわば、科学の国際大会の日本代表に、ぜひ応募し、参加してみませんか?



<https://www.facebook.com/jpskenkyo2>

